

管理下でない核燃料物質の発見について

石巻専修大学

平成 29 年 7 月 3 日、石巻専修大学 2 号館分析センター5 室において、酢酸ウラニルの 25g ガラス瓶に入った試薬が発見されました。放射線計測を行った結果、U-238（ウラン 238）が検出されたため、天然ウランとして本学の使用許可変更届の手続きを原子力規制委員会に提出いたしました。なお、本学はこれまでに核燃料物質使用許可登録を行っております。発見された天然ウラン及びこれまで所持している酢酸ウラニルは、研究に使用される試薬であり、施錠された保管金庫に保管しております。発見場所及び保管金庫周囲の放射能レベルは石巻市の空間線量と有意の差がないことより、学生及び教職員等への健康被害の恐れはなく、学外への影響もないと判断いたします。

今後の対策として、教職員への核燃料物質の取り扱いに関する教育の徹底を行い、再発防止に努めます。